

再評価結果（平成15年度事業継続箇所）

担 当 課：中部整備局都市整備課
担当課長名：筒井 祐治

事業名 3・3・7 <small>いちのみやがすがい</small> 一宮春日井線	事業区分 街路	事業主体 愛知県																
起終点 自：愛知県春日井市下条町字東本 至：愛知県春日井市下条町字森下		延長 0.6km																
事業概要 （都）一宮春日井線は、名古屋市と春日井市を結ぶとともに、小牧市、岩倉市、一宮市を結ぶ北尾張地域における都市計画道路である。このうち、当該区間は名古屋市への通勤道路としての性格を有しているため、特に朝夕のラッシュ時には著しい渋滞が発生している。このため、現在2車線の道路から4車線への道路として拡幅工事を平成6年度から都市計画事業認可を得て、街路事業により整備を進めている。																		
H 6年度事業化	S 47年度都市計画決定 （H 年度変更）	H 6年度用地着手 H 16年度工事着手																
全体事業費	約16億円	事業進捗率 65%																
計画交通量	46,700台/日																	
費用便益分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C</td> <td style="width: 20%;">(事業全体)</td> <td style="width: 20%;">2.1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業)</td> <td>7.7</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	2.1		(残事業)	7.7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td>4.7/17億円</td> <td>36/36億円</td> </tr> <tr> <td>（事業費：4.1/17億円）</td> <td>（走行時間短縮便益：34/34億円）</td> </tr> <tr> <td>（維持管理費：0.56/0.56億円）</td> <td>（走行費用減少便益：0.54/0.54億円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（交通事故減少便益：2.0/2.0億円）</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	4.7/17億円	36/36億円	（事業費：4.1/17億円）	（走行時間短縮便益：34/34億円）	（維持管理費：0.56/0.56億円）	（走行費用減少便益：0.54/0.54億円）		（交通事故減少便益：2.0/2.0億円）
B/C	(事業全体)	2.1																
	(残事業)	7.7																
総費用	(残事業)/(事業全体)																	
4.7/17億円	36/36億円																	
（事業費：4.1/17億円）	（走行時間短縮便益：34/34億円）																	
（維持管理費：0.56/0.56億円）	（走行費用減少便益：0.54/0.54億円）																	
	（交通事故減少便益：2.0/2.0億円）																	
基準年 平成15年																		
事業の効果等 ・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる。）																		
関係する地方公共団体等の意見 （都）一宮春日井線は、名古屋市への通勤道路としての性格を有しており、特に朝夕のラッシュ時には、著しい渋滞が発生しているため、地元から早期整備の要望を受けている。																		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成12年2月に名古屋環状2号線である国道302号線東北部（松河戸から上社）が完成し、当該路線の利便性はますます増大し、早期の整備が望まれる。																		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収は、面積ベースで82%進んでおり、平成16年度から工事着手する予定。																		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得に加え、春日井市の下水道整備計画があり、その調整に時間を要したが、平成16年度から下水道事業は着手となり、今後、残用地の買収、工事着手と事業進捗は図られると考えられる。																		
施設の構造や工法の変更等 新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材使用によるコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用により環境負荷の低減に努めている。																		
対応方針 継続																		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																		
事業概要図 次ページ参照																		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図

